

平成 2 2 年度

「能代デュアルシステム」実施報告書

「能代デュアルシステム」運営委員会

平成22年度 「能代デュアルシステム」推進事業
夏季休業期間

I 実施要項

1 目的

- (1) ビジネスの基礎・基本の知識や技能の理解とアントレプレナーシップ（起業家精神）を身に付けさせる。
- (2) 地域経済の現状を理解し、地域に貢献できる職業人として積極的に進路決定ができる能力を身に付けさせる。
- (3) コミュニケーション能力を高め、社会人としてのマナーを身に付けさせる。

2 期間

夏季休業期間に5～15日間程度。

3 実習企業

能代山本地域にあり、生徒が希望する企業。

4 対象生徒

2年生、3年生の就職を希望する生徒。

5 実習の形態と内容

- (1) 実習企業については原則として生徒本人の希望を優先するが、希望する企業の受け入れができない場合には、話し合いにより他の企業になる場合もある。
- (2) 就業時間は一般の従業員と同じように1日8時間とし、始業時間と就業時間についても実習企業に合わせる。
- (3) 具体的な実習内容については、実習前に各企業と打ち合わせを行う。
- (4) アルバイトとは違うので賃金は支払われない。
- (5) 実習企業については生徒本人が調査し、実習の心構え等については事前に学校で指導する。

6 実習計画

- (1) 実習企業との面接、打ち合わせ
実習企業決定後、企業と面接を実施し、実習内容等について打ち合わせを行う。
- (2) 事前指導
目的、心構えと留意事項など事前指導を行う。
- (3) 実習中の指導
 - ①生徒は実習中、各企業の実習規則に従い、守秘義務を負う。
 - ②生徒は各企業の実習担当者の指導に従う。
 - ③生徒は毎日実習日誌を記入し、各企業の実習担当者の指導を受ける。
 - ④各企業を本校職員が巡回し、随時指導にあたる。
- (4) 事後指導
 - ①実習日誌を完成させ、報告書を提出する。
 - ②企業に礼状を送付する。

7 安全対策

- (1) 事前に学校で安全指導を行う。
- (2) 各企業へ生徒にとって危険な作業は避けてほしい旨を事前をお願いしている。
- (3) 生徒は財団法人産業教育振興中央会の児童・生徒のためのインターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険制度等へ加入する。保険料 ¥750 は自己負担する。

8 経費

保険料については運営委員会で補助するが、交通費、昼食代は自己負担とする。

II 実習人数、実習期間、実習職種

1 実習人数

学 年	男	女	計
2 年	0	0	0
3 年	8	28	36
計	8	28	36

2 実習期間

期 間	人 数
2 日 間	1
3 日 間	18
5 日 間	14
7 日 間	1
8 日 間	2
計	36

3 実習職種

職 種	人 数
事 務	2
販 売	2
サービ	1
美 容	2
幼児教育	2
保 育	7
看 護	10
介 護	1
技 術	4
製 造	5
	36

III 実習生徒一覧 (学年、生徒氏名、実習企業名、職種、実習期間、実習日数)

能代商業高等学校

学年	組	性別	生徒氏名	実習企業名	職 種	期 間	日数
3	A	女		ジャスコ能代店	販売	8/2 ~ 10	7
3	A	女		能代山本医師会病院	看護	8/9 ~ 11	3
3	A	女		山本組合総合病院	看護	8/2 ~ 6	5
3	A	女		すぎ保育園	保育	8/6 ~ 11	5
3	A	女		山本組合総合病院	看護	8/2 ~ 6	5
3	A	女		すぎ保育園	保育	8/6 ~ 11	5
3	A	女		山本組合総合病院	看護	8/2 ~ 6	5
3	A	女		山本組合総合病院	看護	8/2 ~ 6	5
3	A	男		ナカヨ通信機	プログラム開発	8/18 ~ 20	3
3	A	男		ナカヨ通信機	プログラム開発	8/18 ~ 20	3
3	B	女		淳城幼稚園	幼児教育	8/2 ~ 6	5
3	C	女		鎌田段ボール工業	事務	7/26 ~ 28	3
3	C	女		山田製パン工場	製造	7/26 ~ 8/6	8
3	C	女		能代山本医師会病院	看護	8/9 ~ 11	3
3	C	女		能代山本医師会病院	看護	8/9 ~ 11	3
3	C	女		能代山本医師会病院	看護	8/9 ~ 11	3
3	D	男		ナカヨ通信機	プログラム開発	8/18 ~ 20	3
3	D	男		大栄木工	製造	7/26 ~ 30	5
3	D	女		淳城幼稚園	幼児教育	8/2 ~ 6	5
3	D	女		有料老人ホーム胡蝶蘭	介護	8/2 ~ 4	3
3	D	女		鎌田段ボール工業	事務	7/26 ~ 28	3
3	D	女		まつばら保育園	保育	8/9 ~ 11	3

能代工業高等学校

学年	組	性別	生徒氏名	実習企業名	職 種	期 間	日数
3	電気	男		ナカヨ通信機	プログラム開発	8/18～20	3

能代西高等学校

学年	組	性別	生徒氏名	実習企業名	職 種	期 間	日数
3	A	女		山本組合総合病院	看護	8/2～6	5
3	B	女		山田製パン工場	製造	7/26～8/6	8
3	C	男		周秀園	製造	7/26～30	5
3	C	女		山本組合総合病院	看護	8/2～6	5
3	C	女		赤玉薬品	販売	8/4～5	2

二ツ井高等学校

学年	組	性別	生徒氏名	実習企業名	職 種	期 間	日数
3	A	女		I M P R E S S	美容	8/4～8	5
3	B	女		ライジング	美容	7/28～30	3
3	B	女		二ツ井子ども園	保育	8/2～4	3
3	C	男		能代利エンタルモーター	製造	8/4～6	3
3	C	男		クォーレのしろ	サービス	8/2～6	5
3	C	女		二ツ井子ども園	保育	8/2～4	3
3	C	女		きみまち子ども園	保育	8/18～20	3
3	C	女		二ツ井子ども園	保育	8/2～4	3

IV 企業実習、事前・事後アンケート（対象 能代デュアルシステムに参加した生徒）

問1 あなたの学年は

	事前	事後
① 2年生	0	0
② 3年生	36	36

問2 あなたの性別は

	事前	事後
① 男	8	8
② 女	28	28

問3 あなたは将来なりたい職業が決まっていますか

	事前	事後
① 決まっている	34	35
② 決まっていない	2	1
③ 考えたことがない	0	0

問4 あなたは将来なりたい職業をいつ頃決めましたか、また、いつ頃まで決めたいと考えていますか

	事前	事後
①高校に入る前	10	9
②高校1年生のとき	3	5
③高校2年生のとき	13	7
④高校3年生のとき	10	15
⑤わからない	0	0
⑥その他	0	0

問5 あなたは職業を選ぶ際に不安を感じることがありますか

(1) どんな仕事が自分に向いているか

	事前	事後
①不安を感じる	22	22
②不安を感じない	8	11
③わからない	5	3

(2) どこで、だれに相談すればよいのか

	事前	事後
①不安を感じる	11	13
②不安を感じない	20	20
③わからない	5	3

(3) 会社や仕事に関する情報の入手方法について

	事前	事後
①不安を感じる	21	8
②不安を感じない	13	24
③わからない	2	4

(4) 面接試験の受け方について

	事前	事後
①不安を感じる	34	27
②不安を感じない	1	5
③わからない	1	4

(5) 社会人になる心構えについて

	事前	事後
①不安を感じる	30	24
②不安を感じない	4	6
③わからない	2	6

(6) 就職するために必要と思われる免許・資格の取得について

	事前	事後
①不安を感じる	24	18
②不安を感じない	4	10
③わからない	8	8

(7) 不景気で就職できるかどうかわからないことについて

	事前	事後
①不安を感じる	31	25
②不安を感じない	5	10
③わからない	0	1

問 6 あなたが就職を希望する職種は

	事前	事後
①専門・技術・管理	10	12
②事務	5	6
③販売	2	2
④サービス	4	5
⑤生産工程・労務	1	1
⑥その他	14	9
⑦まだ決めていない	0	0

問 7 あなたが就職を希望する企業等の業種は

	事前	事後
①建設業	0	1
②製造業	5	5
③金融・保険業	3	2
④卸・小売業	1	1
⑤サービス業	4	7
⑥公務	2	3
⑦その他	18	16
⑧まだ決めていない	3	0

問 8 あなたが就職したいと思っている地域は

	事前	事後
①能代山本地域	13	16
②秋田市	5	5
③大館市	1	1
④東北地域	2	2
⑤関東地域	9	7
⑥その他の地域	2	1
⑦まだ決めていない	4	4

問 9 あなたが秋田県内に就職を希望する理由は（3つ）

	事前	事後
①生まれ育ったふるさとに愛着がある	12	17
②ふるさとの自然環境、社会環境に馴染んでいる	9	8
③自分の働きたい職場、能力を生かせる職場がある	6	9
④将来、親の面倒を見る必要がある	6	4
⑤地元において家計の手助けをしたい	16	14
⑥両親・家族等から強く勧められた	3	6
⑦友人・知人が多い	5	6
⑧大都市での仕事、生活が自分には合わない	12	7
⑨その他	0	1

問 10 あなたが秋田県外に就職を希望する理由は（3つ）

	事前	事後
①賃金などの労働条件がよい	3	0
②大企業が多い	3	4
③希望する企業や職種が多い	4	3
④技術や能力を生かせる職場がある	3	4
⑤視野を広げたい	8	5
⑥遊べる場所が多い	1	1
⑦保護者の元を離れて生活したい	4	4
⑧都会で暮らしてみたい	2	2
⑨友人・先輩等の勧めがある	1	1
⑩その他	1	0

問 11 あなたが職業や就職先を選ぶ際に重視したいこと、重視したこと（3つ）

	事前	事後
①賃金	23	18
②休日（完全週休2日制）	6	10
③勤務時間や残業の有無	2	2
④福利厚生、スポーツ・レジャーの有無	1	3
⑤職種	7	7
⑥業種	4	6
⑦会社の将来性	10	8
⑧会社の規模や従業員の数	1	0
⑨会社の知名度や評判	1	4
⑩会社の所在地	4	5
⑪経営者の魅力	0	1
⑫自分に向いているか	21	19
⑬やりがいを感じられるか	21	19
⑭取得した免許、資格、知識が活用できるか	6	5
⑮その他	1	1

問 12 あなたが希望する職種・条件と、会社が採用したい職種・条件との間に大きな隔りがある場合は

	事前	事後
①見つかるまで待つ	9	8
②変更してでも就職する	18	17
③わからない	9	11

問 13 転職について

	事前	事後
①転職しない方がいい	12	11
②仕事内容や職場が自分に合わない場合は転職しても	7	13
③もっといい職場があったら、転職してもいい	10	6
④わからない	7	6

問 14 フリーターについては

	事前	事後
①できればフリーターは避けたい	30	31
②希望する職種につけない場合はフリーターでもかまわない	2	3
③フリーターを選ぶことも考えている	0	0
④どちらともいえない	4	2

問 15 フリーターでもかまわない理由は（3つ以内）

	事前	事後
①職場にあまりしぼられたくない	0	1
②アルバイトでも生活できる	0	2
③自分の能力や専門をもっとみがきたい	3	1
④自分を一定の型にはめたくない	2	0
⑤時間をかけて自分の一生の仕事を決めたい	1	2
⑥希望する職種につくまでの間の生活費を稼げる	2	1
⑦仕事につく以外にやりたいことがある	0	1
⑧ライフスタイルとしてあこがれる	1	1
⑨その他	0	0

問 16 あなたは「能代デュアルシステム」における企業実習をだれに勧められたか

	事前	事後
①自分からすすんで	15	20
②親	0	0
③先生	20	15
④企業	0	0
⑤その他	1	1

問 17 あなたが「能代デュアルシステム」における企業実習を希望した理由は（3つ）、
（事後については企業実習後得たものは何かという質問にした）

	事前	事後
①働くことを体験したかった	19	25
②会社の内容を知りたかった	7	6
③仕事内容を知りたかった	23	18
④職場の雰囲気を体験したかった	13	14
⑤学校で学んだことが役に立つか確かめたかった	0	1
⑥社会人としてのマナーを身に付けたかった	9	7
⑦コミュニケーション能力を高めたかった	5	8
⑧将来の進路決定に役立つと思った	25	21
⑨今後の目標をみつけたかった	4	6
⑩その他	2	2

V 生徒の報告書

学年、組 生徒氏名（実習した企業名 職種 期間 日数）

- ①実習前の就職や働くことについてのあなたの考え
②実習後の就職や働くことについてのあなたの考えとよかったと思うこと

能代市立能代商業高等学校

3年A組 ジャスコ能代店 販売 8月2日～10日 7日間）

①私は、働くということについては生活していくなかでとても大切なことだと思います。なぜなら、普通に暮らしているなかでは働いてお金を稼がないと困るからです。また、働くことの楽しさがわかれば生きがいにもなると思います。つまり、働くということは生きていくなかでの生活手段の一つなのではないかと考えます。

②今回の実習で仕事の厳しさや難しさ、会社でのマナーを学ぶことができました。また、実習を一週間行い、働くということはとても大変だということがわかりました。実習では接客を中心とした仕事をしました。自分の仕事しながらお客の対応をしないといけないので、失礼がないようにするのが大変でした。実習を通してとても貴重な体験ができたのでよかったです。

3年A組 （能代山本医師会病院 看護 8月9日～11日 3日間）

①働くということは、生きていくうえでお金を稼ぐためにすることでもありますが、人々のためになることをしたいから働くということもあると思います。でも、それは簡単なことではなく、給料をもらい、人を助けるということは、大変なことなのではないかと思いました。看護師という仕事は、人の命を任せられているので、半端な気持ちではできないだろうし、責任も重大だと思います。

②今回看護師の仕事を体験し、やはり責任重大であり、立ちっぱなしで、体力のいる仕事

だと思いました。注射をする場合、場所を間違えると命に関わるし、また寝たきりの患者さんの場合、身体の向きを絶えず変えなければ床ずれが起こるということで、気が抜けない仕事だと思いました。そして、常に動いていなければならないので体力が必要です。看護師という仕事はとても大変だと感じました。でも、患者さんに「ありがとう。」と言われたり、話しかけてくれるととても嬉しくなりました。退院が決まった患者さんに「お世話になりました。ありがとうございました。」と言われると、この仕事をしてよかったと思えるのかなと思いました。大変なことがたくさんありましたが、嬉しいことや楽しこと、充実感がありました。仕事はすべてそうだろうと思いますが、自分がやりたいと思った看護師の仕事をめざしたいとこの実習を通して強く思いました。

3年A組 (山本組合総合病院 看護 8月2日～6日 5日間)

①就職や働くということは、社会で生きていくためにすることだと思えます。働かなければお金は手に入らないし、お金がなければ親元を離れて生活することは困難です。一人で生きていくためには本当に重要なことだと思えます。また、ただお金が手に入るというだけでなく、働くことで充実した日々を送ることができます。仕事を通して、人とのコミュニケーションについて学ぶこともできるし、働くことをきっかけに自分自身が成長することもできます。毎日を充実させるということは、生きていくためにとても大切なことだと思えます。高校や大学、専門学校を卒業して就職しますが、私にとって働くということは、学校で学ぶこと以上のことだと思えます。

②実習前は、働くことはお金がなければ生活できないのでやらなければならないことだと考えていました。しかし、実習で看護部長さんが言っていた「税金のことなどを考えればだまっけていてもお金はなくなる。」という言葉がとても印象に残りました。そこまで深くは考えていなかったの、改めて考え直して、社会に出て自立するという事は働かなければ本当に生活できないのだなと思えました。5日間の実習でしたが、看護師の仕事がどれだけ大変かということをもっと知ることができました。看護師の方々も忙しい中でしたが、私たちの実習につきあってくださいました。最後の2日間は患者さんとコミュニケーションをとるために会話をしました。特に嬉しかったのは、最終日に話した女性のお年寄りの方がとても笑顔で話をしてくれたことです。私たちが少しでも元気づけられるように話しているつもりが、逆に私たちの方が癒され、お互いに元気になりました。とても感動しました。この5日間の体験を将来に活かしていきたいです。

3年A組 (すぎ保育園 保育 8月6日～11日 5日間)

①就職や働くことは生活していくために絶対に必要なことだと思えます。また、働くなかで日々学んでいくところが職場だと思えます。

②実習を通して、学校とは違う楽しさや辛さを仕事のなかで感じることができました。今回の実習で、子どもたちとふれあいながら先生方の行動を間近に見ることができ、自分と先生方との違いを思い知らされました。そのため大学へ進み、保育に必要な専門的な知識や技術を身につけ、先生方のような保育士になりたいという気持ちが強くなりました。今回の実習は自分にとってよい経験になったと思えます。5日間、戸惑うことや辛いと思うこともありましたが、子どもたちとふれあって、この仕事の楽しさとやりがいを実感することができました。

3年A組 (山本組合総合病院 看護 8月2日～6日 5日間)

①実習前には、働くということはお金を稼ぐことだけだと思っていましたが、デュアルシステムを体験し、患者さんから教えてもらえことも多く、未熟な自分に気づかされました。これから実力をつけなくてはいけないと強く思いました。

②実習を終えてから明らかに以前と気持ちの持ち方が変わりました。病院の裏側の仕事を見たり体験したことで、将来の職業についての考えをより深めることができました。初め

での体験であり不安でしたが、何とかやり遂げることができました。患者さんと接し、さらに看護師になりたいという気持ちが強くなりました。現場の看護師さんは、患者さんを常に思い、行動していました。とても尊敬します。今回の実習をこれからの自分将来に生かしていきたいと思いました。

3年A組 (すぎ保育園 保育 8月6日～11日 5日間)

- ①生計を成り立たせるために必要なことだと思います。そして、自分自身をもっと高めることもできると思います。苦しいこともあるけれど、やりがいを感じると思います。
- ②働くということは大変だけれども、楽しみもあり充実したものでした。今回の実習では、働くことの楽しさだけでなく、苦しさも実感することができてよかったと思います。細かい仕事まで体験できませんでしたが、保育士の裏側の仕事を少し体験できたので良かったです。

3年A組 (山本組合総合病院 看護 8月2日～6日 5日間)

- ①看護師は病気やケガの患者さんを相手とする仕事なので責任が重く、患者さんが元気になるようにサポートやサービスの提供をするために働くのだと思います。夜勤もあり生活が不規則になりますが、体調管理をしっかりとって、常に健康な状態であることが大切だと思います。
- ②病院で働くということは、とても大変だということがわかりました。患者さんのケアだけでなく、医療器具の準備や患者さんやその家族の方が気持ち良く過ごせるための病棟の雰囲気づくりなど、いろいろな細かいことに気を配って仕事をしなくてはならないと気づかされました。今回の実習ではいろいろなことを体験し、患者さんや看護師の方とコミュニケーションを取る機会も多くありました。今回の経験を今後の試験や面接に生かし、働くということについてももっと真剣に考えなければいけないと思いました。

3年A組 (山本組合総合病院 看護 8月2日～6日 5日間)

- ①看護師の仕事は慎重にやらなければいけないと考えます。また、肉体的にもきつく、時間的にも不規則で体調管理がたいへんだと思います。反面、患者さんが次第に良くなっていくことは嬉しいことで、励みにもなると思います。
- ②実際に医療現場は、とても忙しく大変でした。特に、寝たきりの患者さんのリネン交換は大変そうでした。また、患者さんに怪我をさせない工夫や院内感染しないような工夫がたくさんなされていました。実習を通して、看護師の仕事を具体的にイメージすることができ、看護学校に進んでからも役に立つ体験だったと思いました。

3年A組 (ナカヨ通信機 ソフトウェア開発 8月18日～20日 3日間)

- ①私は働くことについて考えていることが二つあります。一つ目はあいさつや言葉遣いがきちんとできるということです。それは中学や高校の時には気をつけながら先生や先輩には接していたのですが、尊敬語などの区別があまりわからないままでしたので、しっかりと使い分けるようにしたいと思います。二つ目は常に責任感をもって行動するということです。学校では謝れば許してもらったことが多かったのですが、社会ではそうはいかないことが多くあります。ときには法律に触れ、罰せられることもあります。仕事をしている人は、皆そのような責任感を持っていないわけにはいきません。私もそのようになりたいです。
- ②実習を終えても働くことについての考え方はその通りでしたが、職場の人たちが楽しそうに仕事をしていて、職場の雰囲気が良く、とてもよい環境だと思いました。単調だと思った仕事も毎日変化があり、私はずっと続けることができると思いました。

3年B組 (淳城幼稚園 幼児教育 8月2日～6日 5日間)

- ①保育士の仕事は子ども達と遊ぶというイメージが強くありました。
- ②実習では子ども達と遊ぶほかにもご飯を食べさせたり、子ども達の使うおもちゃを作ったりしました。子ども達はとても元気でしたが、お祭りの次の日にはちょっと疲れた感じでした。こういう日には集中力がなくなるため、先生の話をお聞きいただけません。お昼ご飯前に席に着いてから騒ぐ子ども達を落ち着かせるために、オルガンを弾いて注目させるなど工夫していました。最終日には4歳児の子ども達と一緒にけやき公園へ行きました。暑かったので帽子をかぶるように呼びかけたり、水筒を持たせたりなど熱中症対策をしました。行き帰り、先生方は子ども達の表情をさりげなく見て、具合が悪くないか尋ねていました。子ども達一人一人の特徴をつかみ、細かいことに気づき対応している先生方はすごいと思いました。

3年C組 (鎌田段ボール工業 事務 7月26日～28日 3日間)

- ①働くということは生活をしていくためにもとても大切なことです。自分が希望している職種ではなくても、その時自分が入れる会社に就職しないと、今は不景気なので後で大変なことになってしまうと思います。だから、あまり自分の希望にとらわれないようにして、今の自分の実力で入れる会社に就職しようと考えています。
- ②実習前は自分に合っていない職業でもとりあえず就職できればいいと思っていましたが、やはり合わない職業だと仕事をしたくなくなるかもしれません。そして、すぐやめてしまうかもしれないので、自分に合った職業を選ぶことも大事だと思いました。3日間実習をしましたが、事務の仕事内容を詳しく知ることができました。事務の仕事はただパソコンに向かっているだけだと思っていましたが、予想以上に細かい仕事があつて驚きました。また、段ボールをつくる製造の仕事も体験してみて、製造の仕事に就くのもいいかなと思いました。この実習を通して、仕事の内容をたくさん学ぶことができたので良かったです。

3年C組 (山田製パン工場 製造 7月26日～8月6日 8日間)

- ①働くことは、誰かの役に立つことでもあり、自分のためでもあると思います。そして、自分が生きていくために必要なお金を稼ぐためでもあります。
- ②今回デュアルシステムに参加して改めて働くという大変さがわかりました。こちらの工場では人手が足りず、従業員の方が残業しても間に合わないことがありました。工場は午後5時30分までで、1時間半以上も全員が残業していました。とても大変だと思いました。働くということは、ただ自分のためにお金を稼ぐということだけではなく、製品をお客様に提供するためにも一生懸命に働かなければいけないのだと実感しました。また実習では、朝10分前に来ることや従業員の方へのあいさつなど基本的なマナーを教わることができました。今回の実習は、暑くて、立ちっぱなしの仕事が多く大変でしたが、学ぶこともその分多かったので参加して良かったと思いました。

3年C組 (能代山本医師会病院 看護 8月9日～11日 3日間)

- ①私は、看護師になり、さらに助産師を目指しているので、今回デュアルシステムを利用して医療の場を体験してみたいと思いました。私は、働くということは家計をまかなうために必要なことだと思います。もし、働かなければ、経済的にも不安定になり、生活していくことが難しくなってしまうと思います。医療は人の命を預かる仕事なので、他の仕事よりも責任が重いと思います。今の時代は就職が厳しいので、働くという強い意志がなければいけないと思います。
- ②今回、能代山本医師会病院で看護の仕事を経験したことで、今まで以上に看護師になりたいという気持ちが強くなりました。実際に白衣を身につけて仕事をして、何かとてもわくわくしました。実習を通して改めて働くということが大変だと実感しました。ほぼ一日

中立っばなしで、働きました。でも、看護師の方々はいつも笑顔で仕事をしていました。患者さんに何と言われても、どんな汚れた仕事でも嫌な顔せず、患者さんに優しく声を掛けながら接していました。そんな姿に感動しました。これから看護学校の試験が始まります。今回の実習で経験したことを生かしたいと思います。将来、私も笑顔で患者さんに接し、不安を少しでも癒すような看護師になりたいと思います。

3年C組 (能代山本医師会病院 看護 8月9日～11日 3日間)

①私が働くという言葉聞き、最初に思い浮かべることは義務という言葉です。生きている者として働くということはとても大事なことで、人間は何かしら役割を与えられて生きていると思います。だから人は働かなくていけないと思います。

②能代山本医師会病院で実習を行い、私は看護師の方々が働く現場を見ることができ、とても良かったと思います。何の知識や技術もない私は、看護師さんに頼りきりでした。看護師さんは忙しいにもかかわらず、自分の仕事もやりながら、私に指導をしてくれました。さすがすごいと思いました。しかし、私は何もできず、応えることはできませんでした。患者さんとコミュニケーションを取らなければいけないのに話しかけることもできませんでした。私は、看護学校に入学し、しっかり勉強して、看護師としての仕事がきちんとできるようになりたいと思いました。今まで看護師の仕事を甘く考えていました。この実習を通して、忙しいけれどもやりがいのある仕事だと実感できました。

3年C組 (能代山本医師会病院 看護 8月9日～11日 3日間)

①実習前、仕事は生きていく上で必ず経験しなければいけないものだと考えていました。生まれてから家族みんなが一生懸命働いてご飯を食べさせてくれたので、成長していくにつれて大人になったら恩返ししたいと思うようになりました。最近、不景気の影響で求人が少なく、それと同時に就職してもすぐ離職する人が増えているとニュースで聞きました。理由は、まず就職することを優先し、実際に働いてみるとやりたかった仕事と違ったということが多くということでした。不満なことがあっても、人は必ず仕事をしなければ生きていけないし、精神的にすぐ挫折していたら社会に通用しないと思います。いつまでも親に頼っていたら、親も安心できないし、本人のためにもならないと思います。仕事をするということは、いろいろな面から考えて一番大切な活動だと思います。

②実習を終えた今も、仕事が一番大切だという考えは変わりません。やりたい仕事ではないからやめるといことがないように夢を持つことが大切だと実感しました。今回看護師の仕事を実際に体験したことによって看護師になりたいという気持ちが強くなりました。これから看護学校へ進学しますが、挫折してしまいそうなきがあるかもしれません。しかし、この体験によって看護師になるという目標が明確になったので乗り越えることができそうです。私は、3日間ですが同じ患者さんに対して食事介護をしました。短い期間でしたが、最後に患者さんから「またおいで」と声をかけられました。とても嬉しくなりました。看護師の仕事は、適切な処置をするだけではなく、患者さんの心の支えになることもできるのだと思いました。短い言葉でしたがその言葉が心に残っています。私は、患者さんに感謝される看護師をめざし、看護学校では勉強に励みたいと思います。

3年D組 (ナカヨ通信機 ソフトウェア開発 8月18日～20日 3日間)

①働くということは自分が生活していくためにやらなければならないことだと思います。生活するにはお金が必要で、働かないと生活できません。

②働くということは、自分や家族が生活していくため大切なことだと思います。今回の実習を通して改めてそう思いました。また、職場の雰囲気やマナーを学ぶことができたので、良い経験になりました。

3年D組 (大栄木工 製造 7月26日～30日 5日間)

①仕事とは何だろうかと考えてみました。自分の能力や労力を他人のために役立てることだと思います。また、働くということは職業をもつということでもあり、社会で生きていくためには必要なことだと考えます。

②実習を通して思ったことは、何のために働くかということでした。お金を稼ぐためだけではなく、自分自身と他の人のために働くのだと思いました。そう思い、必死で働いている人たちを見て、自分の力で周りの人を少しでも楽にさせようと思いながら体を動かしました。これは、今回の実習をした人にしか味わうことができないことなので、この経験を大切に、今後の進路に活かしていきたいと思います。

3年D組 (淳城幼稚園 保育 8月2日～6日 5日間)

①働くということは生きるために必要なことだと思います。そして、生きるためにはお金が必要なので、働かなければいけないと思います。

②今回のデュアルシステムを通して、働くということは幸せなことなのだと思います。実習では子どもが泣いたらなぐさめたり、けんかしたときには仲直りさせたりと大変でしたが、子どもたちがかわいくて仕方ありませんでした。子どもへの話し方や接し方などが少し分かったので、良かったと思いました。

3年D組 (有料老人ホーム 胡蝶蘭 介護 8月2日～4日 3日間)

①私は実習前まで働くということは企業や社会に貢献し、その見返りとして自分に給与が返ってくるということだと思っていました。そのどちらかが欠けても成り立たちません。給与が支払わなければ企業や社会に貢献する理由は見いだせないし、逆に給与が支払われるならばその分、恩返しとして一生懸命働かなければいけないと思います。

②今回の企業実習を通して、私の中での働くということについての考えはあまり変わりませんでした。私は介護福祉士を目指しているので「介護老人ホーム胡蝶蘭」で実習をしました。一日目は、その場に慣れるのが精一杯で入居者の方たちとコミュニケーションを取ることが難しかったです。何を話せばいいのかもわからず、入居者の方も緊張してしまい、会話が続きませんでした。二日目、三日目と進むにつれ、だんだんと慣れ、事務的な仕事からコミュニケーションを取ることまで少しずつできるようになりました。この実習を通して、介護福祉士の仕事を少し理解できたのでよかったですと思いました。

3年D組 (鎌田段ボール工業 事務 7月26日～28日 3日間)

①職場は時間や服装、言葉遣いに厳しく、重苦しい雰囲気なのかと思っていました。働くということは自分の労働力を提供して、お金をもらうことだと考えていました。

②実際に企業で実習し、ただ自分のために働くという考えだったのが、会社のため、人のために働くのだと考えが変わりました。確かにお金をもらうために働くという面もあるのですが、仕事をすることは自分のためだけではなく、人のために働くということが大事だと実感しました。今回の実習を通して、自分の考えが変わりとてもいい経験になりました。

3年D組 (まつばら保育園 保育 8月9日～11日 3日間)

①高校を卒業し、就職を選んだ人はそれぞれの企業に就職するでしょう。それは自分が選んだ道であり、人生の大半の時間がそのことに費やされます。働くということはただ単にお金を得るためだけではなく、個人の能力を他の人のために役立てることもあると思います。仕事は楽しくてやりがいがあるという人もいれば、反対に辛くて苦痛なものだと感じる人もいます。私は、辛くてもそれをしっかりと乗り越えることが充実した人生を送ることになるのだと思います。

②今回の実習で、私は保育園に行きました。小学校からずっと保育士になることが夢で、去年のインターンシップでも「まつばら保育園」に行きました。実習期間は3日間というとても短かかったのですが、去年の経験が役立ち仕事内容もすぐ覚え、自分から進んでやることができました。先生方の行動をしっかりと見て、保育士としての心構えを学ぶことができました。子どもたちとも仲良くできました。これからの進路に役立てたいと思いました。

秋田県立能代工業高等学校

3年電気 (ナカヨ通信機 ソフトウェア開発 8月18日～20日 3日間)

①就職や労働は生きるために必要な手段であり、それ自体目的ではないと思います。そして、働くことを楽しむことはいいことですが、仕事が生活の全てになるようなことは控えるべきであり、プライベートと仕事をしっかりとわけることはとても重要なことであると考えます。また、自分の能力を活かすことができる職場に就職できれば人生が豊かになると思います。

②就職等の考え方は基本的には変わりませんが、働くことはつらく苦しいものだというようなマイナスイメージがこれまで先行していましたが、実習を通して仕事の楽しさや達成感といったプラスの面を体感できました。このことから働くということは、苦しいだけではなく、同時に楽しいこともあると気づきました。今回の実習でよかったと思うことは、「電話の繰り返し試験」でしっかりと目標を達成することができたことです。前回のインターンシップで体験させてもらったのとは少し内容が違い、難しさはありませんでしたが、それでも前回は目標をクリアできなかったのが今回クリアすることができたのはなんともいえない達成感がありました。他にも先輩方との懇談会では、仕事を体験するだけでは分からないような話を聞くことができ、これからのためになる話がたくさんありました。参考にして、就職活動をしていきたいと思いました。

秋田県立能代西高等学校

3年A組 (山本組合総合病院 看護 8月2日～5日 5日間)

①働くことはたいへんなことばかりだと思っていました。しかし、看護師の仕事は患者さんと接する中で感謝の言葉が返ってくる、やりがいを感じる仕事だと思っています。

②企業実習を終え、働くことは大変なことばかりではありませんでした。この仕事は患者さんとコミュニケーションをとることが大切です。必ず患者さんからお礼の言葉があります。そのとき、とてもやりがいを感じました。しかし、人の命に関わるので決して簡単な仕事ではありません。責任が重い仕事です。患者さんとコミュニケーションをとることは難しく、戸惑いがありました。しかし、笑顔を大切に、患者さんと接していくうちに次第にコミュニケーションも上手くとれるようになりました。看護師さんにも「最初は何事も上手くできないけれど、あいさつと笑顔だけはしっかりとね。」と言われました。改めて働くことの大変さと同時に楽しさを知り、看護師の仕事の中身を深く知ることができました。

3年B組 (山田製パン工場 製造 7月26日～8月6日 8日間)

①私は幼い頃から調理という仕事に興味があり、この仕事は体力を使う、きつい仕事ではないと思っていました。楽しくできる仕事だと思い、8日間という大変さを考えもしないでこの実習を希望しました。

②私は調理関係の仕事に就きたいという希望があり、こちらで実習を体験させていただきました。実際の実習内容は、主にラスク作りと包装、汚れた用具等の洗浄などでした。実習中は、暑い日が続く、立ちっぱなしの作業はとてもきつかったです。精神的にも体力的

にも大変でした。この実習で働くことの大変さを、改めて知ることができました。また、従業員の方々の働く姿に、頑張る一生懸命さが伝わってきて、職場の雰囲気を経験することができました。長時間働くためには、体力だけではなく精神力と前向きな姿勢が必要だと思いました。働くときには、こちらで学んだことを生かし、辛くても一生懸命頑張っていきたいと思います。

3年C組 (山本組合総合病院 看護 8月1日～6日 5日間)

①私は働くということを簡単に考えていました。デスクワーク中心で、ナースコールがなったときに患者さんのところへ行くものだと考えていました。カルテの整理やお医者さんとの注意事項の確認をしたり、患者さんの点滴を行うくらいに考えていました。

②患者さんとのコミュニケーションをとるのはとても難しく、患者さんが何を伝えたいのか、何をしてもらいたいのか理解するのに苦労しました。看護師さんにはデスクワークはほとんどなく、患者さんと接する仕事を中心で、立ち仕事が多かったです。カルテ整理、やナースコール、患者さんの身の回りのお世話などに追われていました。しかし、やりがいがあり、患者さんからありがとうと言われたときの喜びは大きかったです。看護師の皆さんはいつも笑顔で仕事をしてすごいなと思いました。今回、看護師の仕事について、少しですが体験できたのでよかったですと思います。

3年C組 (赤玉薬品 販売 8月4日～5日 2日間)

①現在は、就職してしっかりと自分の仕事をこなすことができるのか不安です。高校生活とは違い、自分のすることには責任を持たなければなりません。自分の失敗が会社に大きな影響を与えてしまうかもしれないからです。就職はこれからの人生に大きく関わってきます。先生や親に頼ってばかりでなく、自分自身でしっかりと考えたいと思います。

②二日間という短い期間でしたが、実際に仕事をして、働くためには努力が必要だということがわかりました。私たちは店で何気なく買い物をしてはいますが、店の担当の方からお話を伺い、現在のような商品の説明ができるようになるまで10年くらいはかかったということでした。お客さんの特徴や商品のことをノートにまとめたりと、最初は自分なりに工夫や努力が必要だということです。実習前はきちんと仕事ができるか不安でしたが、最初からできる人などいないのだとわかり、少し安心したのと努力次第でこのように仕事ができるようになるのだと前向きに考えられるようになりました。また、私は年齢が違う人と話すのが苦手でしたが、今回の実習を通して少し克服できたと思います。今後の就職活動に生かせることばかりで、自信もついたのでよい経験になりました。

秋田県立二ツ井高等学校

3年A組 (IMPRESS 美容 8月4日～8日 5日間)

①生活の基盤になり、生きがいをもって働くことが大切だと思います。

②実習を通して、お客様とのコミュニケーションが大切だと思いました。以前から美容師の仕事に関心があり、将来はこの仕事をしたいと思っていましたので、仕事の内容を詳しく知ることができてよかったです。お店の雰囲気もよく、従業員の方々にも優しく接していただきました。この経験を生かして、進路を決定したいと思いました。

3年B組 (ライジング 美容 7月28日～30日 3日間)

①働くということは、お金を稼ぎ、親から自立することだと思います。そして、責任が重く、人との関わりも大切になってくると思います。

②今回の実習を通して、美容に関する仕事内容を知ることができました。そして、思っていた以上に責任が重いことを実感することができました。あいさつや返事がとても大切だ

ということも学びました。この体験を生かして、就職したいと思いました。

3年B組 (二ツ井子ども園 保育 8月2日～4日 3日間)

- ①保育士は子どもの成長に関わる責任の重い仕事なので大変だと思いますが、自分が目指している職業なので、頑張れると思います。
- ②私は保育士を目指しています。保育園には以前ボランティア活動で行ったことがありました。そのときには子ども達と遊ぶことだけでしたが、今回のデュアルシステムでは、いろいろな仕事を体験することができました。お昼ご飯を食べさせたり、お昼寝の時間には寝かしつけたり、おもちゃを消毒したり、ホールの掃除をしたりと。ボランティア活動では体験できなかったこともできたのでよかったですと思いました。

3年C組 (能代オリエンタルモーター 製造 8月4日～6日 3日間)

- ①就職すると、責任が重く、時間にも厳しく、人間関係も難しくなると思います。
- ②今回のデュアルシステムでは、仕事内容や職場の雰囲気を知ることができました。朝の準備体操から始まり、不良品のチェックなど、立ちっぱなしの仕事で疲れましたが、体験できてよかったですと思います。また、働いている人たち同士のやりとりも見ることもできました。

3年C組 (クォーレのしろ サービス 8月2日～6日 5日間)

- ①働くことはとても大変なことだと思いますが、生活するためには大切な活動だと思います。
- ②まず感じたことは、この仕事はこの仕事はとても奥が深いということです。宗教の違い、宗派の違い、地域性などで争議の内容が全く変わってくるということです。このことが分かっただけでも私にはよい経験になりました。働くことはやはり大変でしたが、この辛さに耐えてお金を稼がなければいけないのだと思いました。

3年C組 (二ツ井子ども園 保育 8月2日～4日 3日間)

- ①保育士の仕事について、子供の接し方や世話のしかたなど、どのようにしたらよいのか、また自分がこの仕事に適しているかとても不安です。
- ②今回、デュアルシステムに参加し、保育士の仕事を自分の目で見、体験することができてよかったですと思います。最初は不安でしたが、実習が進むにつれて少しずつ慣れてきて、不安もなくなり、取り組むことができました。短い期間でしたが、私にとっては貴重な体験になりました。就職についてはまだ不安なことがありますが、働くことの大切さを学ぶことができてよかったですと思いました。

3年C組 (きみまち子ども園 保育 8月18日～20日 3日間)

- ①働くということは、人の役に立つことであり、自分のためでもあると思います。やりがいを感じる仕事に就くことが大事だと思います。
- ②将来自分の就きたい職業を体験することができてよかったですと思います。子どもの目線に立って、読み聞かせをしたり、手遊びをしたりと今までとは違う目線で保育の仕事を体験することができました。

3年C組 (二ツ井子ども園 保育 8月2日～4日 3日間)

- ①保育士の仕事はとても体力の使う仕事だと思いました。子どもとどのように接すればよいか不安でした。
- ②将来、私は保育士になりたいと思っています。デュアルシステムに参加して、少しは仕

事の中身がわかったのでよかったと思います。先生方からもいろいろなアドバイスをもらい、子ども達とも多くふれあうことができました。

VI 企業について

(1) 受入企業一覧 (企業名、職種、受入生徒数、受入日数)

NO	事業所名	職種	受入生徒数(人)	日数(日間)
1	ナカヨ通信機	プログラム開発	4	3
2	山田製パン工場	製造	2	8
3	山本組合総合病院	看護	6	5
4	鎌田段ボール工業	事務	2	3
5	大栄木工	製造	1	5
6	ジャスコ能代店	販売	1	8
7	まつばら保育園	保育	1	3
8	能代山本医師会病院	看護	4	3
9	有料老人ホーム 胡蝶蘭	介護	1	3
10	すぎ保育園	保育	2	5
11	渟城幼稚園	幼児教育	2	5
12	赤玉薬品	販売	1	2
13	周秀園	製造	1	5
14	I M P R E S S	美容	1	5
15	ライジング	美容	1	3
16	能代オリエンタルモーター	製造	1	3
17	クオーレのしろ	サービス	1	5
18	二ツ井こども園	保育	3	3
19	きみまち子ども園	保育	1	3

(2) 受入企業アンケート集計結果

◎ □の中の数字は企業数を示す

問1	企業実習の時期については、いつ頃がいちばん都合がよいでしょうか。	
1	7月中旬～8月中旬(夏季休業期間)	15
2	12月中旬～1月中旬(冬季休業期間)	0
3	3月下旬～4月上旬(春季休業期間)	0
4	時期はこだわらない。	2
5	その他(冬季以外)	1
問2	企業実習の期間について、企業として可能な期間は何日程度でしょうか。	
1	5日間程度	9
2	10日間程度	3
3	20日間程度	0

4	1ヶ月間程度	0
5	その他（3日間、3～5日間）	6

問3 企業実習の生徒の人数について、企業として受け入れ可能な人数は何人程度でしょうか。

1	1名	3
2	2～3名程度	11
3	5名程度	3
4	その他（生徒の居住地により分散する場合がある）	1

問4 受け入れにあたって「日本版デュアルシステム」における企業実習とインターンシップにおける企業実習との違いがありましたか。

1	違いがあった	5
2	違いがなかった	8
3	わからない	4
4	その他（ ）	1

問5 問4で1を選んだ方について、どのような違いがあったかご記入ください。

・3年生と2年生の違いがあり、3年生の場合すぐに就職試験があるということで物事のとらえ方に差を感じました。

・デュアルシステムは3年生が対象になっており、進路がすでに決まっているので取り組みが真剣である。

・デュアルシステムではただ仕事をしていただくだけでなく、一つの仕事に説明を加えます。例えば、なぜ必要か、大切かなど。

・保育士を目指している方、そして前向きに取り組もうという気持ちが伺われ、とても好印象でした。ただ、インターンシップとかデュアルシステムなど、ちょっと理解しにくい言葉で、日本語でタイトルをつけていただいた方が受け入れ側としてはピンとききます。

問6 受け入れた生徒に対する評価をお願いします。

(1) 業務に対する姿勢

1	非常に積極的	18
2	やや積極的	9
3	普通	4
4	やや消極的	1
5	非常に消極的	1

(2) 業務に対する理解度

1	非常によい	5
2	ややよい	17
3	普通	9
4	やや悪い	1
5	非常に悪い	1

(3) 職場でのマナー

1	非常によい	7
2	ややよい	16
3	普通	10
4	やや悪い	0
5	非常に悪い	0

問7 本事業に対する感想や今後の事業の取り組みに対するご要望をお願いします。(自由意見)

・本事業については、今後もご協力させていただきます。ただし、当事業所としては目的があります。「実践的技術、技能」について、学校の生徒さんのご要求通りは難しいと考えており、ご容赦願います。また、当社への採用との関連は基本的に考慮せず、就業体験として位置づけています。高校生として元気よく挨拶する姿等は好感が持て、よく教育されていると感心しております。業務実習の取り組みも意欲的であると思います。わからないことがあった場合の対処の個人差や、午後多少眠くなることは現生活の延長を考慮するとしかたなく、こちらから声をかけるようにしています。高校生世代の一般的な限界と感じるのは、手足を動かして忙しい場合は積極的になれるのですが、業務全体の説明やイメージできない説明(机上)となると、かなり厳しいようです。当方も説明や体験方法を考えていますが、生徒自身が今何の実習をしているのか、一連の業務の中で、どこの部分をやっているのか自身が把握した方が良いということを事前に伝えていただければと思います。生徒にとっても貴重な時間ですので、単に手足を動かして頑張った、先輩と話して楽しかった(卒業生との懇談会実施)、だけでないことも期待しています。今後ともよろしく願いいたします。

・看護師を目指す学生にとっての職場体験は、一つ一つが貴重なものであり、今後に活かされていくものと思います。これからもこのような取り組みを続けて欲しいと思います。医療の場での職業訓練(デュアルシステム)は、困難な点が多いが、職場体験という形で、少しでも看護師の仕事を知ってもらえたらいいと思う。

・皆様方が一生懸命考えた結果だと思しますので、現状ではベストだと思います。

・以前、インターンシップで参加していたため、今回のデュアルシステムでは経験があったためとてもスムーズでした。業務に関してはとてもまじめに取り組んでいたようです。体験を通して今後の生活に活かしていただければと思います。

・進路がほぼ決まっている学生達なので、取り組みが真剣で好感が持てました。看護師を目指している学生であれば、看護師の仕事はどのようなものか、また看護師になるためにはどのような道を選んだら良いかを知るためには、施設でおこなう実習は意義があると思いますが、すでに奨学金を利用してどここの病院に就職すると決まっている学生には疑問を感じています。

・実習生が来て下さったことにより、施設内も大変明るくなり、また利用者の笑顔も耐えない3日間でした。このような事業は、私たちの事業所としても職員の指導力のレベル向上にもつながりますし、また高校生にとっては、働くことの厳しさ、楽しさ、そして社会人としてのマナーを身に付けるのに大変良い取り組みだと思います。

・今は学校行事でお客様と接する機会をもうけているようですが、お客様に対する心構えが出来ているように思います。さらにデュアルシステムで社会に出て行く準備をするというのは生徒さんたちの自信につながると思います。私たち会社にとっても、毎日のマンネリ化している雰囲気若い人のパワーを頂ける気がしますので、是非続けてほしいと考えます。そして、社会に出た時、職種は違っても学んだことを一つでも思い出してくれたら嬉しく思いますので、会社としても何か心に残ることを伝えられるよう協力したいと思っております。

・この企画はとても良いことだと思いました。我が家の子供達も同様、社会に出るまではなかなか働いている人達と話したり、話を聞く機会が少ないからです。すぐ、目の前に厳しい現実であることに気づくことは、社会に出てからの心構えでとても大切だと思うか

らです。迎える私どももそういう人材を望みます。

・近年、当事業所において新卒者の離職率が高い傾向にあります。原因は様々ですが、学生生活と社会人としての生活リズムのギャップ（人への接し方、会話等）が、大き過ぎるように思えます。せっかくのシステム、職場体験をより身近に感じられるよう時間を拡大、実習期間を増やす等してほしいです。年間に1回ではなく、2～3回設定して、就職時にある程度社会適応能力を身につけている状態であってほしいと思います。

・今回、デュアルシステムに関する打ち合わせの連絡がなかったため、受け入れの日の2日前に当社より生徒さんが在籍されている学校にご連絡をいたしました。受け入れする側にも打ち合わせが出来る日程というものがありますので、受け入れ日ぎりぎりの打ち合わせではなく、最低一週間前には完了していただければ助かります。また、当社では仕事をする楽しさ、大変さを生徒さんに体験していただきたいため、デュアルシステムの受け入れをさせていただいております。実際に就職した場合通用しますかというような内容のご質問はご遠慮いただきたいです。当社では就職のテストとして受け入れしているつもりはございませんので、ご理解いただけますようお願い致します。

・進学を希望している生徒もデュアルシステムを経験することで、将来地元に戻ってくる時、どんな会社があるか理解できると思います。

・はじめての受け入れでした。今後積極的に取り組みます。

・今までのインターンシップと違いがよくわからないが、子ども園の子ども達はやさしいお姉さんに関わってもらい喜んでいました。また、生徒さんが保育士希望ということもあってか、とても意欲的で一生懸命であり、いろいろとお手伝いをしていただいた。今後もこのような意欲的な生徒さんであれば受け入れ可能です。